

令和2年度版 改善計画

学校名：甲府西高等学校

No.	項目	現状と課題	R3年度に目指すべき状態	①R2年度に実施する内容 ②R3年度に向けて検討する内容	達成状況
1	会議等の効率化	・会議の長時間化 ・会議記録等の作成負担	・会議進行の効率化 ・会議記録作業の効率化	① ICTを活用し、会議資料の共有化、会議の省力化を図る。 ② テレビ会議システムの利用による会議の精選。	
2	学校行事の負担軽減	・ルーティンワークになっている行事がある。 ・行事準備への負担増	・行事の目的の明確化 ・進め方の簡素化	① 新型コロナウイルス感染症対応による年間行事の見直しを通して、行事の重要性と必要性を検討する。 ② 重要性と必要性から削減できる行事を洗い出し精選。	
3	校内組織の見直し	・教員数の減少と分掌・委員会の多さ ・業務量の偏り	・業務内容の明確化 ・業務の適正分担	① 業務内容をふまえて、分掌組織の見直しを進める。 ② 各委員会の目的をふまえての実施回数削減。	
4	業務の効率化	・業務遂行の長時間化 ・資料作成時間増の慢性化	・ICT活用による効率化 ・業務遂行の短時間化	① ネットを利用したアンケート集計の活用により効率化を図る。 ② 各教科、分掌等で資料・動画教材のデータベース化。	
5	部活動の負担軽減	・教員数の減少により、一教員が複数の部を担当。 ・部休日設定の困難さ	・部の統廃合による適正な体系化 ・部休日の適正配置	① 部員数の状況から、部の統廃合の検討を進める。 ② 学校の部活動方針に従う活動の構築。	
6	地域人材の活用	・各種事務処理における業務負担増	・外部機関との連携 ・事務作業の簡素化	① 模擬試験の活用により、学習指導の効率化を図る。 ② 業者との連携により、校内事務処理の省力化	
7	学習へのICTの活用	・オンライン授業や動画教材の研究が進んだ。 ・作成による業務負担増	・ICTを活用した指導の効率化 ・教材作成の負担軽減	① オンライン授業や動画教材などICT活用による効率化を図る ② どのような動画教材やTeamsの活用が有効か検証。	
8	組織的な指導	・多様な生徒に対応する指導による負担増	・チームとしての対応 ・情報共有と協働化	① 外部機関との連携を有効活用した生徒支援を進める。 ② 必要な情報の共有化を目指した外部機関連携データベースの構築。	

※達成状況：次のA～Dで評価し、各年度末に県立学校は県教育委員会へ、公立小中学校は市町村（組合）教育委員会へ提出する。

A 達成できた B ある程度は達成できた C あまり達成できなかった D 達成できなかった

※様式は、必要な項目が含まれていれば、適宜、変更して使用して差し支えないこと。